

Leo

No.710 会報 1
2008



「永遠のクリスマス」

- 国際協会テーマ**
“WE SERVE”
- 複合地区スローガン**
“情熱と探究”
- C地区スローガン**
“地域と共生 融和と協調で感動を呼ぶ奉仕”
- クラブスローガン**
“ひろめよう思いやる心 移そう心を行動に”



沼津ライオンズクラブ



年頭にあたって



会長 L.小池禮二



皆様新年あけましておめでとうございます。輝かしい年をご家族皆様と新たな希望と決意をもってお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年7月にスタートした2007—2008年度も半年が過ぎてたく新年を迎えることになりました。皆様の御協力のもとに当初の事業計画も予定通り進めてくることができました。殊には、メンバー一体となって開催したチャリティーバザーは、予定していた事業に大いに資する成果をあげる事ができ、本当にありがとうございます。

ところで本年は、戌子(つちのえね)の年であり、1948年生まれの人にとっては、五度目の干支として、還暦を迎えることとなり重ねてお祝い申し上げます。還りみれば、戦後間もない食料難の時代に生を受け、ベビーブームの真っ只中を、スシ詰め教室等大勢の中をもまれ団塊の世代

という名のもと、高度経済成長を支えながら今日迄来た訳で本卦還りともいう人生の折り返し点を迎え感一入といったところではないかと思います。

さて、その高度経済成長時代と共に、大量生産、大量消費時代を経て地球環境に対する危惧は、かってない程高まっています。それと共に近年社会環境のあまりの変化の激しさに対して、豊かさそして幸せの尺度として物質的なものから、精神的なものすなわち、心の安らぎ、癒し、ゆとりを求める事などに変わってきつつあります。私達の活動も、物から心の奉仕へと少しづつでも流れを変えていくことが必要なではないでしょうか。年度後半は、そのような思いをもって、メンバー皆様共々力強く踏み出していきたいと思います。

結びにメンバー皆々様の御健康と益々の御発展を心から祈念致しましてご挨拶といたします。

日本アイバンク協会

第30回

いさはや大会

角膜提供に新技術登場!!

マイクロケラトロン

第30回日本アイバンク運動推進協議会諫早(イサハヤ)大会が9月22日長崎県で、L.勤山弘講師 L.土屋誠司理事長のもと開催され、総会、研修会、講習会と盛りだくさんのプログラムであった。昭和54年にスリランカから空輸された角膜が長崎の子供さんに提供されており、立派に成長された提供者とL.勤山が対面をするという感動的な場面があった。一方技術力の向上により「強角膜片」のみを採取することが可能な「マイクロケラトロン」が導入され、以前に比べ飛躍的な採取数の上達があるとの報告がされた。献眼運動の原点にある沼津LCは更なる運動の強化を誓うものです。

昭和54年 長崎新聞 ▶

光は海を越えて

愛の眼球、届く

愛の医療、県内外に発展

昭和54年9月12日付
長崎新聞より

昭和54年9月12日付
長崎新聞より



愛の献眼提供

故 落合 喜代様 79才

11月13日清水町伏見の「落合 喜代様」が亡くなられ専い献眼をしていただきました。故落合 錦一ライオンの奥様です。ご夫婦での献眼ということになりました。

視力福祉委員長 L.服部 厳一郎

故 西山 泰二様 77才

11月19日沼津市杉崎町の「西山 泰二様」が亡くなられ専い献眼をしていただきました。生前アイバンクに登録されており、目の不自由な方のために角膜を提供されました。

28年後の再会です



▲長崎新聞 2007年(平成19年)9月23日付

読売新聞 2007年(平成19年)9月23日付▶

角膜移植 28年経て 初対面



提供受けた
木下さん

1979年9月、スリランカのアイバンクから提供された角膜移植を受けた大村市の元教師木下さん(88歳)と、同市で、当時、医師として医療活動を続けていた静岡県沼津市出身の勧山弘さん(88)(静岡県沼津市)と前後28年を経て初めて対面した。2人は「奇跡」とか思えない」と、笑顔で握手を交わす。

アイバンク推進協研修会

1979年9月、スリランカのアイバンクから提供された角膜移植を受けた大村市の元教師木下さん(88歳)と、同市で、当時、医師として医療活動を続けていた静岡県沼津市出身の勧山弘さん(88)(静岡県沼津市)と前後28年を経て初めて対面した。2人は「奇跡」とか思えない」と、笑顔で握手を交わす。

アイバンクは、政府主導による国際的な組織で、年々、世界中の医療機関で開催される。木下さんは、80歳の誕生日に、静岡県沼津市出身の勧山弘さん(88)と、28年前に角膜移植を受けた。木下さんは、「奇跡」とか思えない」と、笑顔で握手を交わす。

木下さんは、80歳の誕生日に、静岡県沼津市出身の勧山弘さん(88)と、28年前に角膜移植を受けた。木下さんは、「奇跡」とか思えない」と、笑顔で握手を交わす。

木下さんは、「奇跡」とか思えない」と、笑顔で握手を交わす。

献眼者厚生労働大臣感謝状伝達式

—光を掲げた人々を讃える会—



出席のメンバー

静岡ライオンズクラブ

CN50周年記念式典

11月4日(日) 静岡ライオンズクラブのCN50周年式典がホテルセンチュリー静岡で行なわれ、写真の7名のメンバーが出席されました。





11月 第1例会 倉敷LC認証50周年式典

11月3~4日、倉敷LCの50周年式典に、33名が参加しました。会場は倉敷アイビースクエア、明治時代の紡績工場を再開発した蔦と赤レンガの伝統を感じる格調高い施設です。倉敷LCは昭和48年姉妹クラブの縁組がされて以来、深い交流を続けています。



倉敷LC会長 L.藤南和将



倉敷アイビースクエア・フローラルコートで式典



後楽ゴルフ倶楽部で



備中国分寺（五重塔）で

11月 第2例会 見学例会 盲導犬訓練施設

日本盲導犬総合センターは平成18年10月にオープンした。盲導犬の出産から引退後の生活まで過ごすことができ、より良い盲導犬育成システムを研究していく施設です。この場所は以前オウム真理教富士山総本部の跡地です。



助成金の贈呈を行いました



広大なスペースをもった近代的な施設です



12月第1例会 健康と食事と運動



講師の稻野利美様

県立ガンセンター栄養室長 稲野利美様より「健康と食事、食事と運動」の講演。



MJF献金者へ感謝の帽子贈呈



アイバンク協会認定サポートー講習会受講証伝達

「どんち屋のステージショウ」

コーラス「ボーカル・エル」

12月第2例会 クリスマス例会

12月20日(木)ブケ東海沼津で行なわれ、ボーカル・エルのコーラスで始まり、サンタクロースの登場、「どんち屋のステージショウ」などで盛り上がり楽しい時間を過ごせました。

ライオネス田中宣子様



ライオネス杉本万千様



L.山上 ご夫妻



L.中村逸郎 ご家族



L.名取正純 ご家族



L.金井隆直 ご夫妻



L.鈴木清次 ご夫妻



L.横山 業 ご夫妻



L.細沼信二 ご夫妻



L.鈴木忠一 ご夫妻



L.小池禮二会長 ご夫妻



L.横山政道 ご夫妻



L.土屋誠司 ご夫妻



L.山上明倫 ご夫妻

